



令和8(2026)年度 9月号 檀原市立真菅北小学校 令和8年9月1日

真菅北だより

学校教育目標 自ら学び、考え、判断して行動できる心豊かでたくましい児童の育成



さあ、今日から 2 学期 テーマは「やりきる！」



長い夏休みを終え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。今日から2学期が始まります。

2学期は、一年の中でも学校生活が最も充実する時期です。スポーツフェスティバル、平和学習、修学旅行、音楽会、遠足、かけ足など、心に残る行事がたくさんあります。友だちと力を合わせたり、一つの目標に向かって努力したりする中で、子どもたちは大きく成長していきます。

しかし、2学期に大切にしたいのは、行事だけではなく、日々の学習、読書、遊び、そして学級の仲間との関わり。こうした何気ない毎日の中にも、一人ひとりが自分を伸ばすチャンスがあります。

そこで、2学期のテーマを「やりきる」としました。

「やりきる」と聞くと、最後まで全力で頑張りを続けることを思い浮かべるかもしれませんが、私はそう考えていません。大切なのは、その時々自分にできることを考え、「もう一歩やってみよう」と、自分の力を少しだけ前に進めることです。「昨日より一問多く考えてみる」「もう一ページ本を読んでみる」「苦手なことにも一度挑戦してみる」「友だちに自分から声をかけてみる」。そんな小さな一歩で十分です。

私は、日々子どもたちと過ごす中で、「子どもたちは、まだまだ力を出せるのではないか」と感じる事が多々あります。一人一人まだ出会っていない自分の力が眠っていて、伸びしろいっぱいです。「ちょっと上」を目指して挑戦することで、「こんなこともできた」という新しい自分に出会うことがあります。「やりきった!」という瞬間に生まれる達成感を、日々の生活の中でこの2学期たくさん味わってほしいなと思います。学校は、子どもたちが安心して挑戦できる場所でありたいと考えています。そして子どもたちの力を余すところなく伸ばせる場にしていきたいと思っています。

さあ、2学期。今の自分より「ちょっと上」を目指して。一人ひとりが自分の力を発揮し、「やりきる」ことのすばらしさ、達成感、そして楽しさを味わえる学期にしましょう。

平和について考えよう

9月の人権のテーマとして「平和について考えよう」を掲げ、平和について考える学習に取り組みます。

校内には、戦争や人々の暮らしに関する資料や展示を設けます。子どもたちが身近なところから資料に触れ、過去に起こった出来事や、そこで暮らしていた人々の思いについて知る機会にしたいと考えています。そして、「自分たちにできることは何だろう」と、一人ひとりが考えるきっかけにしていきます。

また、6年生は修学旅行で広島を訪れ、現地でさまざまなことを学びます。その学びを6年生だけのものにせず、全校の学びにつなげていきたいと考えています。その一つとして、全校児童で折り鶴を折ります。一羽一羽に願いを込め、6年生に託します。

大切なのは、過去の出来事を知ることだけではありません。友だちの話を聴くこと、自分と違う考えを認めること、相手の気持ちを想像すること。日々の学校生活の中にある、こうした小さな行動も、互いを大切にすることにつながります。

2学期の学習を通して、子どもたちが「知る」だけで終わらず、「考える」「感じる」、そして自分の生活の中で「行動する」ことへとつなげていけるよう取り組んでまいります。

広島市では、毎年8月6日にこども代表が「平和への誓い」を発表しています。今年の「平和への誓い」にも、これからの社会を生きる子どもたちへの大切なメッセージが込められています。

ぜひ、ご家庭でもお子様と一緒に読んでみてください。

▶ [令和8年「平和への誓い」](#) [広島市ホームページ]



令和8年度 「真菅北小学校のあいことば」

仲よく挑戦し 元気で笑顔あふれる 真菅北小学校